

つくばエクスプレス（TX） 県内延伸に係る方面決定について

2023年6月23日

茨城県

パブリックコメントの結果(募集期間:5月1日~30日)

意見提出者数

283名・団体 個人 262名/法人・団体 21団体

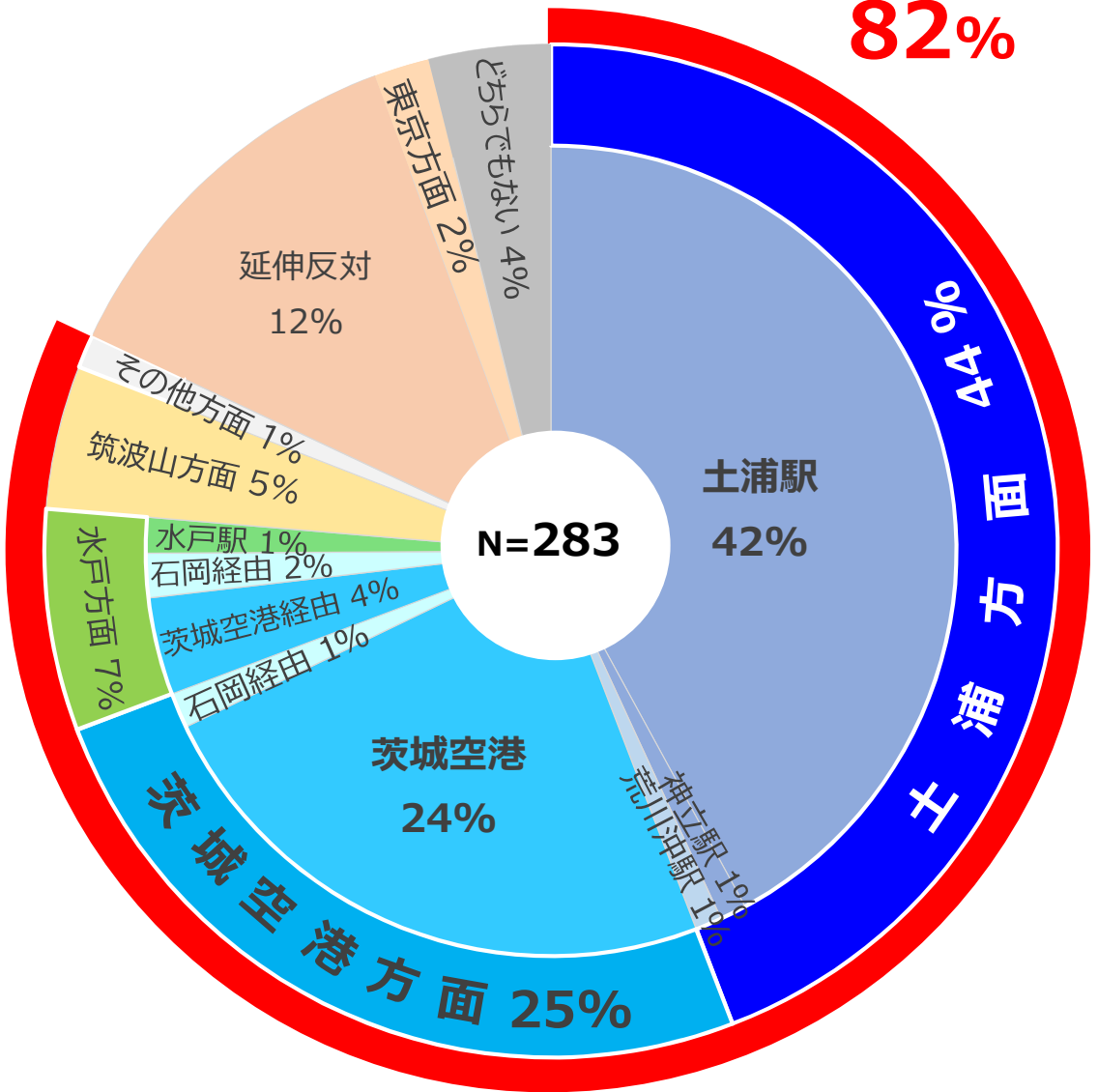
住所(所在地)内訳

土浦市	72	石岡市	10
小美玉市	63	県内その他市町村	51
つくば市	50	県外・不明	25
水戸市	12	計	283

延伸方面に対する賛否

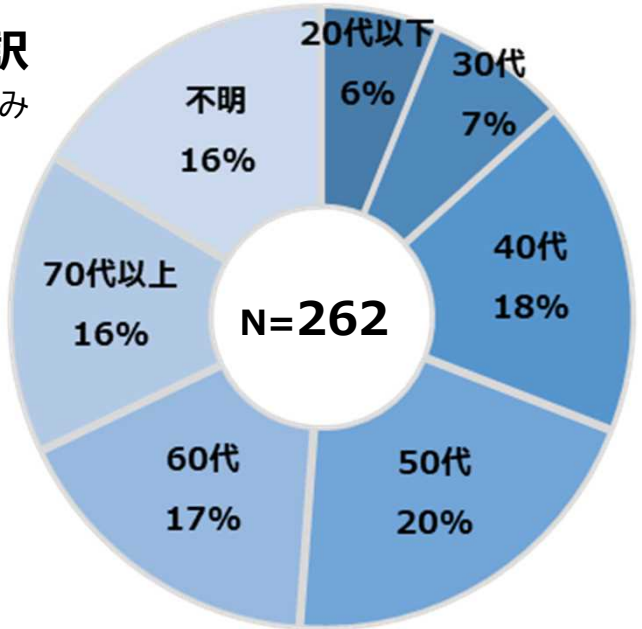
※意見書の主旨に基づき分類

県内延伸賛成 82%



年代内訳

※個人のみ



パブリックコメントの結果(募集期間:5月1日~30日)

延べ意見件数

540 件

※提出者1名から複数の意見が提出された場合、それぞれの意見をカウント

意見内容の整理

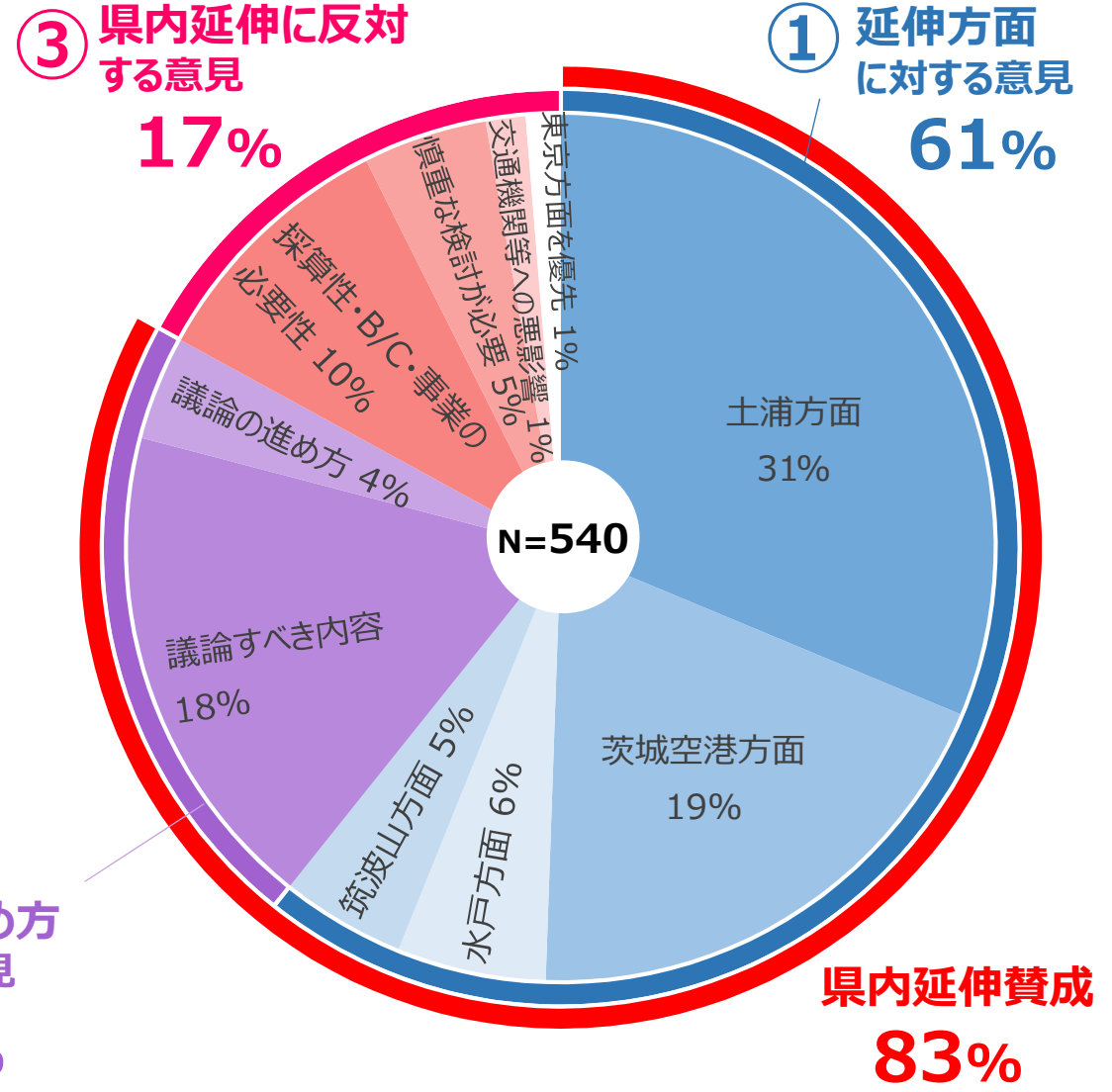
意見を整理すると、3項目に集約される

① 延伸方面に対する意見

② 今後の進め方に対する意見

③ 県内延伸に反対する意見

各項目における意見の割合



パブリックコメントに寄せられた主な意見内容

① 県内延伸方面に対する意見

1 土浦方面とする意見

- 4方面の中で、費用がかからず実現可能性が高い。
- 公共交通のサービスレベル向上に繋がる。
- 事故・災害時のリダンダンシー（代替性）の確保に繋がる。
- 土浦を中心に新たな沿線開発が期待でき、地域活性化に寄与する。
- 将来的には茨城空港延伸にも繋がる。

2 茨城空港方面とする意見

- 茨城空港、TX双方の利用促進に繋がる。
- 県全体にT X延伸効果が波及する。
- 国内外の観光客、特にインバウンド需要の取り込みが期待できる。
- 茨城空港の今後の機能拡張に繋がる。

3 水戸方面とする意見

- 県全体の発展に繋がる。
- つくばと水戸の交流拡大に繋がる。
- 茨城空港延伸とセットで考える必要がある。
- リダンダンシー（代替性）確保に繋がる。

4 筑波山方面とする意見

- 更なる観光発展に繋がる。
- 通勤通学エリアが広がり、移住促進にも繋がる。

パブリックコメントに寄せられた主な意見内容

② 県内延伸の今後の進め方に対する意見

1 議論すべき内容

- 将来につながるルート・駅の設定が必要である。
- B/C（費用対効果）、採算性の再シミュレーションが必要である。
- 利便性の向上のため、相互乗り入れの検討が必要である。
- コスト削減策の検討が必要である
- TX、JRの賛同に向けた取組が必要である。

2 議論の進め方

- 多様なメンバー（沿線自治体、国、関連事業者、専門家等）での協議を進めるべきである。
- 住民全体による盛り上がりが必要である。

③ 県内延伸に反対する意見

1 延伸自体への反対意見

- 採算性に乏しく赤字となる延伸は必要ない。
- 利便性向上が見られず、需要が拡大しない。
- 今後の沿線開発が期待できない。
- B/C（費用対効果）が1以下でもあることから、事業として不適格である。

2 東京方面を優先する意見

- 全国各地への大幅な利便性向上に繋がる。
- 現在の契機を逃さず東京延伸を実現することが必要。

パブリックコメントの結果を踏まえた延伸方面の決定について

パブリックコメント募集時の県の考え方

- ・ 本県が目指す将来にとってのTX県内延伸の意義
 - ① 東京圏からの新たな人の流れの創出
 - ② つくばと水戸の二大都市圏の交流
 - ③ 自動車からの転換に向けた公共交通サービスレベルの向上
 - ④ TX延伸を起爆剤とした本県未来の更なる飛躍に実現可能性を考慮しながら方面案を検討。
- ・ 延伸によって得られる効果と費用のバランスなどを考慮し、土浦方面への延伸が最善と判断した第三者委員会の提言を尊重。

パブリックコメント結果の総括

- ・ 土浦以外に茨城空港を延伸方面とする意見も含め、延伸に賛成する意見や今後の進め方について多くの意見が寄せられたことから、今後の県勢発展に必要な事業として大きな期待が確認できた。
- ・ 一方で、採算性やB/Cなどの面で実現可能性が低いため、延伸に対する反対意見もあった。

延伸を実現させていくためには、もっとも実現可能性のある延伸先を選定し、その実現可能性を高めていくことが、県として最善の方針であると判断。

県としての延伸方面

- ・ TX県内延伸の方面は土浦方面とする。また、JR常磐線と接続する駅は土浦駅として、県内延伸構想の具体化に向けた検討を進めていく。
- ・ 土浦延伸実現後、空港の着陸制限の緩和等、空港を取りまく状況が変化した場合、改めて茨城空港延伸について議論する。

TX県内延伸の実現に向けた今後の進め方について

- ・ 第三者委員会からの提言及びパブリックコメントの結果からは、需要の呼び起こしや事業スキームの更なる検討が課題として提示されている。
- ・ 今後、TX県内延伸の実現に向けて、①実現可能性の強化、②調整と磨き上げ、③具体的な計画内容の決定の3つのフェーズに分けて進めていく。

フェーズ1 ＜実現可能性の強化＞

採算性確保に向けた 方策の調査・検討

- ・ 採算性確保に向けて、沿線開発等の需要拡大方策とともに費用削減方策等を検討
- ・ 採算性確保が可能な延伸ルートや事業スキーム等を検討

関係機関との調整に向けて
県としての素案を
策定していく

フェーズ2 ＜調整と磨き上げ＞

関係者との調整等を
進めるとともに、
必要となる追加調査等を
実施し、素案の
磨き上げを進めていく

国勢の発展に必要な
鉄道路線として
交通政策審議会答申での
位置付けを目指す

フェーズ3 ＜具体的な計画内容の決定＞

関係機関等と
路線計画や建設計画、
事業スキーム等を
決定していく。

事業主体となる
鉄道事業者等と共同して
延伸事業の
許可取得を目指す

TX県内延伸の実現

関係都県や関係者等との調整